

教科	科目	学年	単位数
外国語	英語コミュニケーションⅠ	1 (除一貫)	3
使用教科書		副教材	
Heartening English CommunicationⅠ(桐原書店)		DATA BASE 4800(桐原書店)	

1. 学習目標

- 1＝各素材から様々な文化、経済、歴史、風習、伝記等を英語で学び取りながら英語への関心を喚起し、
 2＝英語を読み、書き、聞き、話す等のさまざまな言語活動を通じ、英語の運用の「基礎」となる精読力、速読力、構造理解力、解釈力、文法力、聴解力、発信力、語彙力、解答力等の向上を目指しながら、
 3＝英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。

2. 評価の観点と方法

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 定期試験や、朝テスト、授業における小テストの結果などを総合的に評価する。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 定期試験、授業における小テスト、表現活動などを総合的に評価する。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 授業態度、オンライン英会話、課題への取り組み状況などを総合的に評価する。

3. 学習内容

テキストの内容の解釈（右ページの進度予定表を参照）に加えて、全学習活動を通して以下の学習項目をその都度登場するごとに扱う。

- 1＝語彙に関する事項：コミュニケーション英語Ⅰ及び英語探求Ⅰの全単語に加え900語程度の新語。
 2＝文構造に関する事項：文構造のうち運用度の高いもの。
 3＝文法に関する事項：以下の文法事項の基礎、標準、及び発展。
- A：時制（基本時制、完了時制、進行形、完了進行形等）
 B：助動詞（基本形、助動詞＋完了形、助動詞＋受動態等）
 C：態（能動態と受動態の基本形、それぞれの完了形、それぞれの進行形、それぞれの完了受動形等）

- D：不定詞（基本形、形式主語、形式目的語、完了不定詞、受動不定詞、否定不定詞、完了受動不定詞等）
 E：動名詞（基本用法、完了動名詞、受動動名詞、否定動名詞、完了受動動名詞等）
 F：分詞（現在分詞と過去分詞の基本用法、限定用法、叙述用法、各種の分詞構文等）
 G：接続詞（等位接続詞、従属接続詞等）
 H：関係詞（関係代名詞、関係副詞、限定用法、継続用法、複合関係詞等）
 I：比較（同級、比較級、最上級の基本、否定比較、比較の応用等）
 J：仮定法（仮定法過去、仮定法過去完了、仮定法未来、仮定法現在等）
 K：特殊構文やその他の事項（強調、否定、倒置、省略、間接疑問、代名詞、名詞、冠詞等その他の事項）

4. その他（科目の特徴や学習の注意点など）

学習方法の詳細（ノートのとおり方、宿題の仕方、授業の受け方等）については各担当者からその都度説明があるのでそれに従うこと。

	月	単元	授業内容	
1学期	4	Review of the last year @LESSON-01 Bringing Out the Best in Himself	中学時代の復習 八村塁選手の半生を描いた物語文。自主・自律の精神と、他者との協力を重んずる態度を養う。	1＝学習のポイント この科目では英語を言語の4技能に基づき総合的に扱います。そのためには、 ①予習 ②授業 ③復習 のリズムを確立してください。特に予習がしっかりと <u>していればいるほど授業と復習の効果は格段に高まります。</u> 授業が行われる前にテキスト本文の単語調べや内容解釈は確実に実行してください。なお解釈の際には文構造を常に意識してください（＝理解に重点）。また、各レッスンが終わったら <u>本文を最低20回は音読復習</u> しましょう（＝慣れに重点）。 外国語習得の急所は「理解」と「慣れ」です。
	5	@LESSON-02 Hold On, Anzu!	捨てられた小型犬が警察犬として活躍するまでを述べた物語文。個人の価値を尊重し、その能力を伸ばす精神を培う。	
	6	@LESSON-03 We Can Make a Difference	気候変動の影響と、その問題への取り組みについて述べた説明文・意見文。環境の保全に寄与する態度を養う。	2＝朝テスト（詳細別紙） <u>単語は英語を読み、書き、聞き、話すベース</u> となるものです。日本人が英語が苦手な原因のひとつに単語力が低いことが挙げられます。「覚えること」と「思い出すこと」をうまく組み合わせて自分のものにしてください。その他文法の朝テストも行います。
	7	@LESSON-04 Creative Problem Solving	人間の心理や行動の特徴を利用し、創造的にポイ捨てをなくす方法を述べた論証文。公共の精神に基づき、主体的に社会に参画する態度を養う。	3＝到達目標学力 CEFR＝A1～A2
	8	@LESSON05 Canned Bread to Feed the World	食糧廃棄問題の解決と飢餓地域への支援を可能とするシステムを構築したパン・アキモトの取り組みを述べた物語文。主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する精神を養う。	

2 学期	9	@ LESSON-06 Could We Have a Real Jurassic Park?	恐竜再生の可能性について論じた説明文。幅広い教養を身に付け、真理を求める態度や道徳心を養う。	＊ 1 年を通じての学習姿勢として 「英語の学習＝毎日のごはん」です。みなさんは1日ご飯を食べなかったり、1週間分をまとめて食べたりしたらおなかをこわしてしまいます。英語も同じです。何も学習しない日があったり、まとめて1週間分学習してしまう日があるような学習スタイルではいけません。毎日適量の学習を継続してください。要は、 ～毎日・適量・継続～ です。英語をぜひ得意科目にしてください。
	10	@LESSON-07 Behind the Price Tag	安価な衣類製造プロセスにおける労働者の実態を述べた説明文と、問題に対して対立する二者の意見文。正義と責任を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。	
	11	@LESSON-08 The World's Winter Festivals	世界の冬の祭りを比較し、その共通性について論じた説明文。	
	12		日本をはじめ他国の伝統や文化を尊重する精神を培う。	
3 学期	1	@LESSON-9 Talking Trees	木々が大きな森となって繁栄するために互いに協力している科学的事実を述べた説明文を通じ、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。	
	2	@LESSON-10 Capturing the Reality of the World	フォトジャーナリスト安田菜津紀氏が仕事を通じて学んだ使命について述べた物語文。主体的に社会の形成に参画し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。	
	3	REVIEW ＊下線を施した月には定期試験が予定されている。 ＊上記レッスン中、年間8レッスン以上を目安とする。	復習等	

＊当シラバスは生徒の現状や実態等に配慮しながら変更することがある。また科目の目的を達成するために必要と思われる時はテキスト以外の教材に差し替えることがある。